

太宰府市俳句ポスト第一〇八回入選者 (自令和二年八月一六日 至今令和二年十月十日)

入選句

喘ぎつつ着きし 隠沼法師蟬

筑紫野市 江上 正

秋咲いて観世音寺の暮れ早し

福岡市 白井道義

女子像の笑顔をさそふ小鳥来る

福津市 柴田佳津子

読み疲れ閑ぢれば虫の声しきり

太宰府市 松尾満子

拜殿に出入り自由の揚羽蝶

福岡市 松浦正和

役終へし牛車労はる秋の風

小郡市 斉田白奈江

祝福の神鼓たかなる七五三

大野城市 北嘉子

弥勒仏瞑想深し秋彼岸

福岡市 梶原敏子

揺れるほど人目を引いて秋の花

太宰府市 座親フミ子

虫の音に和する寺苑の風の音

福岡市 山口裕子

蜻蛉の風乗り換へて乗り換へて

太宰府市 白石照子

奥宮の山気ほぐるる石踏の花

福岡市 河野京子

人声に俄に元氣秋の蝶

春日市 永剛五十鈴

妹と揃ひのべや七五三

太宰府市 佐々木和代

読めぬほど苔むす句碑に小鳥来る

太宰府市 瀧田縁

太宰府の遊園地にもとんぼとぶ

熊本県八代市 入田颯基 十四歳

秋空やテニス部部长に決まったよ

太宰府市 瀧田智美 十三歳

とんぼうと遊びに来たよ太宰府に

小郡市 大石一葉 十一歳

さとがえりてんまんぐうにうめのもち

福岡市 坂口一華 九歳

きれいだなしずかな森と虫の声

福岡市 西田玲音 九歳